

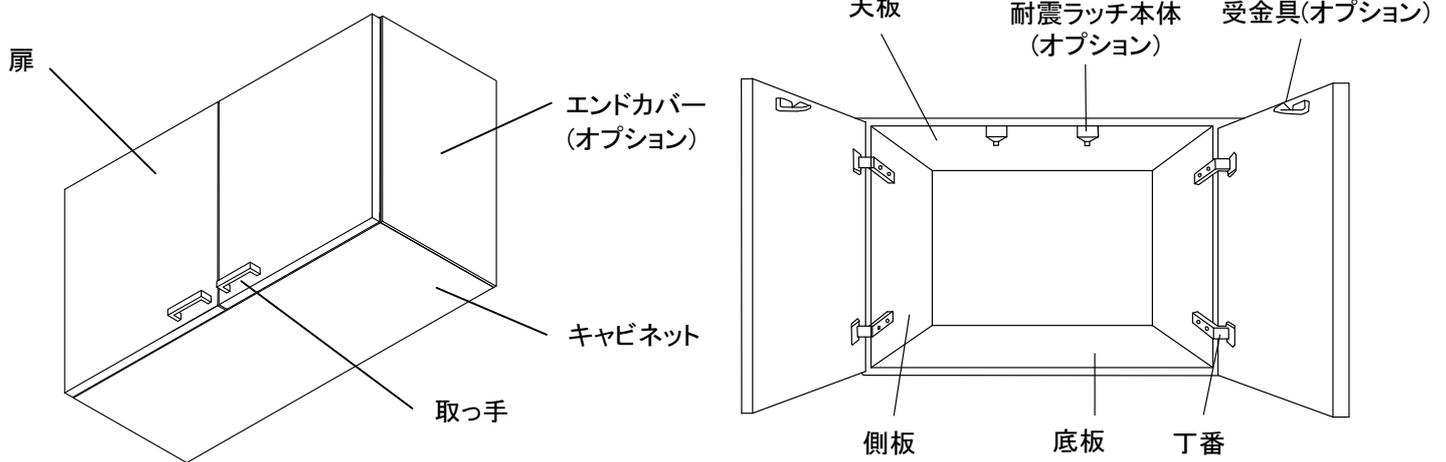
タカラ

洗面ウォールキャビネット

(エンドカバー含む)

取扱説明書 (お客様へ)

設置説明書 (設置される方へ)



もくじ

取扱説明書	ページ
1. 使用上のご注意	1
2. 使用方法	1~2
3. お手入れのしかた	2
4. 『故障かな?』と思ったら	2
5. アフターサービス	3

設置説明書

1. 設置される方へのお願い	3
2. 設置上のご注意	3~4
3. 標準取付け寸法及び取付け枠位置	4
4. 設置手順	4~5
5. 点検及び仕上げ	5
6. お願い事項	5

お客様へ

このたびは、タカラ洗面ウォールキャビネットをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでもご覧になれる所に大切に保管して下さい。

設置される方へ

設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

タカラスタンダード株式会社

取扱説明書 (お客様へ)

1. 使用上のご注意

必ずお守りください。(安全上のご注意)

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



注意

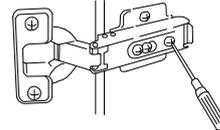
- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎないでください。



- 扉や取っ手がはずれて、ケガをするおそれがあります。

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締め直すか、販売店にご連絡ください。

※丁番の直し方：下記2(1)をご覧ください。



- 放置しておくと扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

- 吊戸棚に収める収納物は安定した状態で収めてください。



- 収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。

〈耐震ラッチが取付いている場合〉

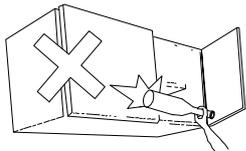
- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっていないか確認してください。



- 収納物が落下してケガをするおそれがあります。

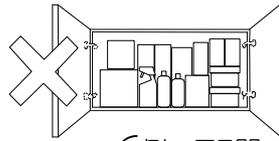
快適にご使用いただくためにお守りください。

- 扉やキャビネットに硬いもの、鋭利なものを当てないでください。



- 傷、カケ等が発生するおそれがあります。

- 底板に過度に重い物や偏って物を収納しないでください。



- 底板が変形するおそれがあります。

*間口10cm当たり2kg以内にしてください。

(例：75間口吊戸棚の底板1枚につき15kg以下。)

2. 使用方法

(1) 丁番の調整方法 ※調整には+ドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。(図①)

※丁番には(イ)、(ロ)の2タイプがあります。

① 扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかりと締め込んでください。

② 扉の前後方向の調整方法

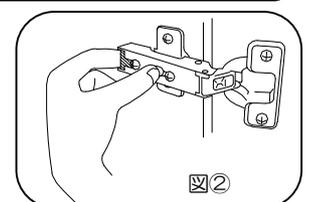
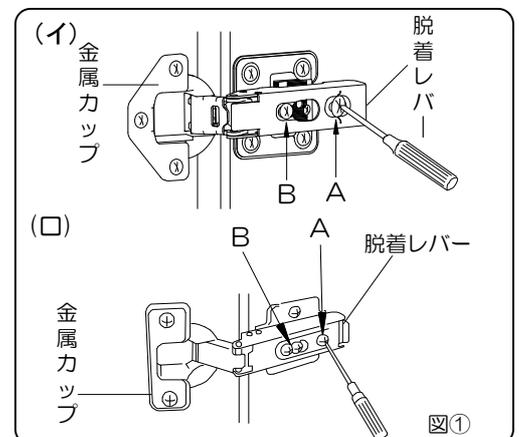
Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。

③ 扉の左右方向(段違い)の調整方法

Bのネジの締め込み代で調整してください。

(2) 扉のはずし方

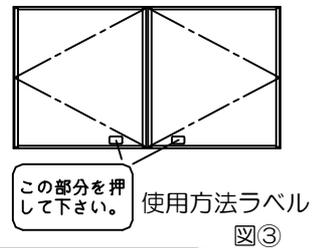
中央の穴に親指を当て、脱着レバーを人差し指で押し上げてください。(図②)



(3) プッシュラッチが付いている場合（扉に使用方法ラベルが付いています。）

扉の開閉のしかた

- ・ 開けかた：扉の使用方法ラベル付近を押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離してください。(図③)
- ・ 閉めかた：扉の使用方法ラベル付近をゆっくり奥まで押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離してください。(図③)

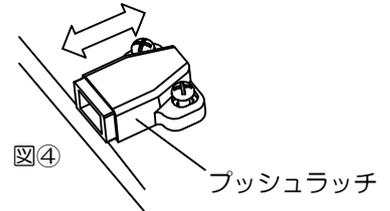


ご注意：開閉の際は、必ず使用方法ラベル付近を押し下してください。使用方法ラベルから離れたところを押すと、正しく開閉できない場合があります。また、扉を押し続けると、扉が変形して正しく開閉できなくなるおそれがあります。

調整のしかた ※調整には+ドライバーが必要です。

プッシュオープン扉が作動しない場合や、扉の前後調整を行う場合は、下記の要領にしたがって、プッシュラッチの位置を調整してください。

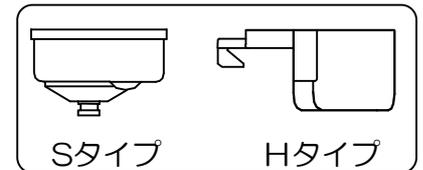
- プッシュラッチの取付穴が長穴になっていますので、ネジを緩めてプッシュラッチの位置を調整し、ネジを締めなおしてください。(図④)



(4) 耐震ラッチが取付いている場合

耐震ラッチは、Sタイプ・Hタイプの2タイプあります。

- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。(このとき、扉は2~3cm開きます。)



ご注意：耐震ラッチは地質、建物の構造、階数により性能を充分発揮できない場合があります。

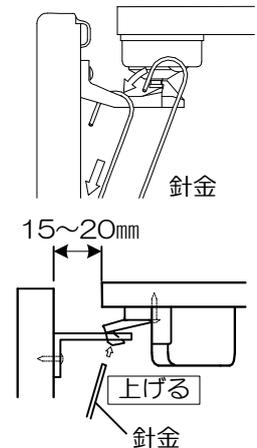
- 通常使用(扉の開閉)においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。
- 扉の開閉は、力を入れずにやさしくおこなってください。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

Sタイプの場合

- ① 扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具にひっかけてください。
- ② 一度扉を閉じてください。
- ③ 針金を下方に引きながら扉を開けてください。

Hタイプの場合

- ① 扉の隙間を15~20mmに保持してください。
- ② 扉の隙間より針金等細いものを差し込み、ロックピンを押し上げながら扉を開けてください。



ご注意：強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。

3. お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日常のお手入れが大切です。なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

キャビネット、扉部その他のお手入れ

水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



4. 「故障かな?」と思ったら

アフターサービスをお申し付けになる前に次の点をお調べください。それでも具合の悪いときは、次項目にしたがいお申し付けください。

現象	確認事項	処置
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形していませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。

5. アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。



0120-557-910

受付時間 9:00~18:00 (土日祝、夏期・年末年始休業日を除く)

なお、アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名 洗面ウォールキャビネット
- (2) 型式・品番 (キャビネット内側面の検査合格証に表示しています。)
- (3) 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

●修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

設置説明書 (設置される方へ)

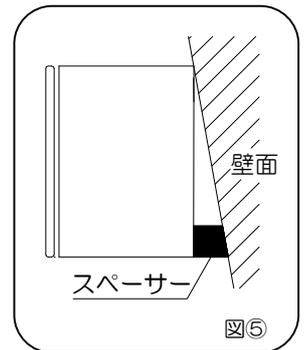
1. 設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客様にお渡しください。

2. 設置上のご注意

設置する壁面のタチ、カネ(垂直、直角)がでていることを確認してから設置作業を行ってください。壁面がゆがんでいると、扉に段違いが発生したりキャビネット間にスキが発生して、きれいに収まらない場合がありますので、キャビネットと壁面の間に適当なスペーサーを入れて調整してください。(図⑤)



必ずお守りください (安全上のご注意)

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

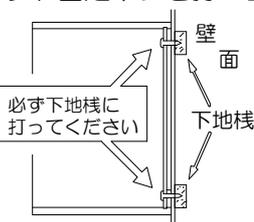


この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告

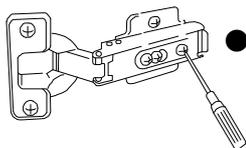
- キャビネット固定ネジを打つ部分には、十分な強度をもつ木質の下地材があることを確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通りに確実に行ってください。
※5ページ(3)をご覧ください。



- ネジ打ち部分に下地材がなかったり下地材の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが脱落して大事故につながります。

⚠ 注意

- 設置完了後、扉の丁番固定ネジがしっかり締まっているかを必ず確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。



- 扉が脱落してケガをするおそれがあります。

- 取付、仕上げ作業に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類については、容器等に記載の注意表示にしたがって、正しくお使いください。



- 誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

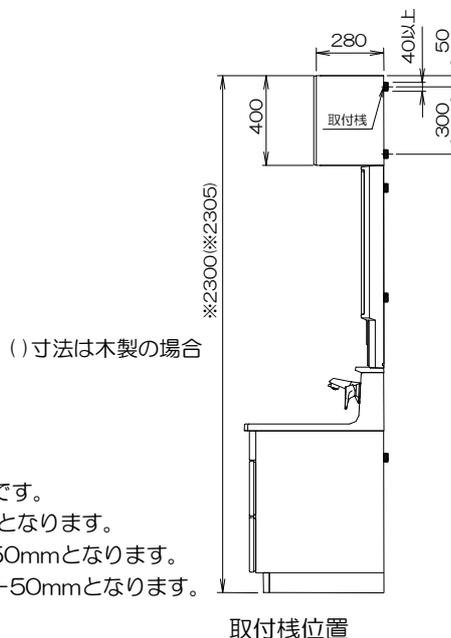
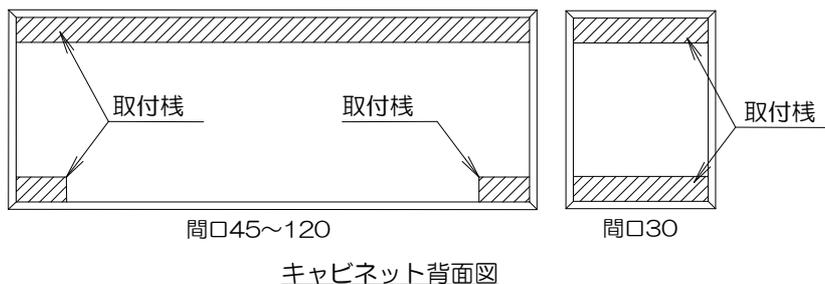
快適にご使用いただくためにお守りください。

- 設置途中で製品を仮置きする場合は段ボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

- 汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

- 設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

3. 標準取付け寸法及び取付枠位置



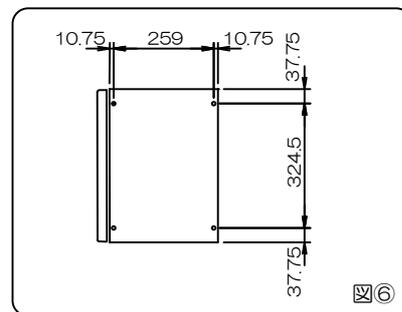
※印はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。カウンター高さ80cmの場合は、+50mmとなります。そこまでホーローロック設置の場合は、+50mmとなります。スライドトレイ設置の場合、上記に加えて+50mmとなります。

4. 設置手順

(1) 付属部品の確認

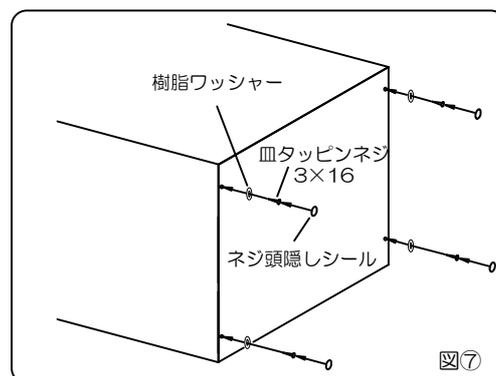
下記の付属部品が必要数同梱されていますので、設置前にご確認ください。

	部品名	本数
ウォールキャビネット	トラスタッピンネジ (4.5×60)	5
	トラスタッピンネジ (3.5×27)	3
	取扱設置説明書	1
エンドカバー	皿タッピンネジ (3×16)	4
	樹脂ワッシャー	4
	ネジ頭隠しシール	4
	設置チラシ	1



(2) エンドカバーの取付 ※エンドカバー取付の場合のみ

- ①ウォールキャビネットの側面に固定用のφ1.5下穴(深さ5mm程度)を4ヶ所加工してください。(図6)
- ②付属の樹脂ワッシャーと皿タッピンネジ4本でエンドカバーを固定し、ネジ頭隠しシールを貼付けてください。(図7)



(3)ウォールキャビネットの設置

下記の手順で設置してください。

①壁面取付用下穴の加工 → ②連結用下穴の加工 → ③壁面取付及び連結

〈①壁面取付用下穴の加工〉

所定の位置に壁面取付用の下穴(φ4.5穴)を加工してください。(図⑧)

〈②キャビネット連結用下穴の加工〉

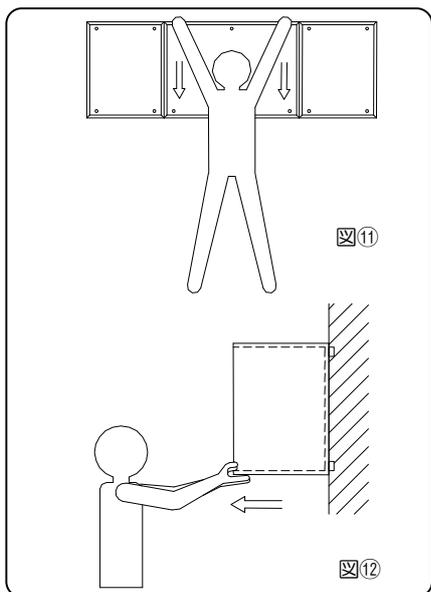
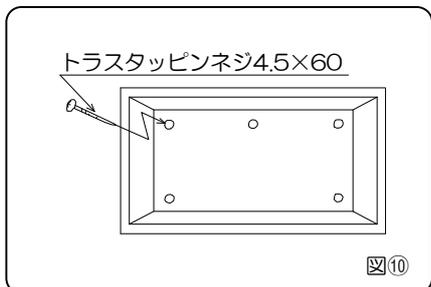
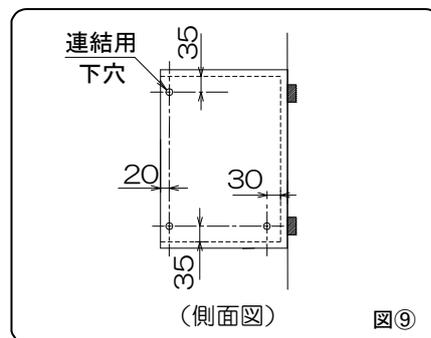
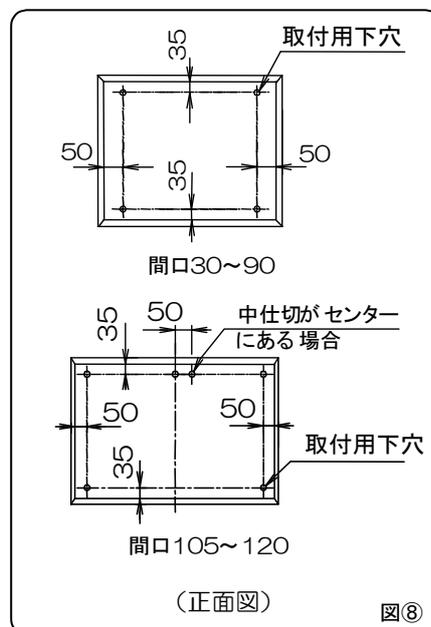
連結するキャビネット側板のどちらか一方に連結用下穴(φ4.5穴)を加工してください。(図⑨)

〈③キャビネットの壁面取付及び連結〉

①で加工した壁面取付用下穴より、ネジ(トラスタッピンネジ4.5×60)で壁面に取付けてください。(図⑩)

ご注意：下地の木質棧にネジパカにならないようにしっかり固定されていることを確認してください。

キャビネットを連結する場合は、②で加工した連結用下穴より隣接するキャビネット側板にネジ(トラスタッピンネジ3.5×27)でスキがでないように連結してください。



5. 点検及び仕上

安全確保のため、必ず実行をお願いします。

- 扉にガタツキ、段違いがある場合は、1ページ 2(1)の要領にしたがって調整してください。
- プッシュオープン扉が作動しない場合は、2ページ 2(3)の要領にしたがって調整してください。
- 設置時に商品が汚れた場合は、柔らかい布に中性洗剤を含ませてふき取ってください。
- 壁面へのネジ固定が確実にされているか、下記の2点の方法で確認してください。

①ウォールキャビネット天板ぶら下がり確認

セット間口センター付近のウォールキャビネット天板(側板や中仕切のある近辺)にぶら下がり、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。(図⑪)

ご注意)ウォールキャビネットの底板にはぶら下がらないください。底板が変形するおそれがあります。

②ウォールキャビネット底板引っ張り確認

ウォールキャビネットの底板を引っ張り、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。(図⑫)

6. お願い事項

- 全ての作業が完了しましたら、商品の保護養生してください。
- 梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番地1号
Tel 06-6962-1531

10154872

3A-1